

事務事業実績測定調書

R4調書番号 080

事務事業名称	開発行為等に伴う寄附・帰属等道路処理事務										
測定年度	2022(R4)年度		部	土木部			課	道路公園管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続等に関する条例、決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	開発事業等に伴い開発業者等が整備する道路施設を市へ移管することにより宅地等の土地利用を図りたいと計画する人。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	法令等に基づいた手続きが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	開発行為等に関し、都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続に関する条例に基づき、道路形状構造等について開発者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図っている。				
事業概要	開発行為等に関し、都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続に関する条例に基づき、道路形状構造等について開発者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						開発行為等に対し、各法令等に基づき、道路形状構造等について開発者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図る。				開発事業等に関し、法令等に基づいた手続きを実施する。				
指標設定	指標説明					協議が完了した件数				法等に基づく協議件数				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					300	300	300	300	300	300	300	300
	達成度					86%				86%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,171	15,714	14,843		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,171	15,714	14,843		
物件費計	1,841	1,310	11,343	4,501	252.0%	
歳出計	11,012	17,024	26,186			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	1,607	1,310	4,501	8,812	
	市債	0	0	0	0	
	その他	234	0	329	80	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,841	1,310	4,830	8,892	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	6,513	0		

5. 総括的分析

総括的分析	開発行為は社会情勢等の影響を受けやすい。そのため新型コロナウイルス感染症の拡大防止（不要不急の外出抑制）の影響が前年度から継続してあったものと想定される。指標数値は目標に達していないが、協議申請受付分については、適正かつ円滑に事務を行うことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	法令や条例、その他要綱等に基づき、開発者等と道路構造形状等の協議を行い、良好な道路の環境整備に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 081

事務事業名称	道路等管理事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	道路の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	道路の管理瑕疵による事故がないようパトロールを継続的に実施し、道路の安全確保を維持する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全で利便性の高い道路が維持できている。				
事業概要	規制を行うための路線認定行為 道路の管理瑕疵による賠償 第三者による道路施設の損傷行為について現状復旧のための原因者に対する指導 年2回の道路一斉パトロール				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						路線認定行為を通じて、道路機能を確保する。				規制を行うため、路線認定行為を実施。				
指標設定	指標説明					市が管理する道路延長に対する 認定路線延長率 【算出式:認定路線道路延長/市 が管理する道路延長×100】				認定路線道路延長				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					70	70.10	70.20	70.30	5,000	5,000	5,000	5,000
	達成度					100%				81%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
指標設定②	指標説明		発生した瑕疵に対し、適切に賠償を行う。	道路管理瑕疵に基づく賠償を実施。
	指標種類		道路瑕疵に対する賠償対応率 【算出式:道路瑕疵による事故件数/賠償件数×100】	道路管理瑕疵相談件数
	指標数値		単位 %	単位 件
	目標(見込み)		R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績		100 100 100 100	5 5 5 5
	達成度		100%	160%
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
指標設定③	指標説明		道路施設損傷の原因者負担による施設復旧工事を行う。	道路施設の損傷行為について、原因者に対し、復旧指導を行う。
	指標種類		損傷行為に対する復旧件数	道路施設の損傷行為に対する指導件数
	指標数値		単位 件	単位 件
	目標(見込み)		R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績		150 150 150 150	150 150 150 150
	達成度		164%	164%

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.60
再任用	1.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	47,633	40,272	36,179		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	47,633	40,272	36,179		
	物件費計	20,218	23,676	20,892	27,211	76.8%
歳出計	67,851	63,948	57,071			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	18,221	20,353	20,890	20,633	
	市債	0	0	0	0	
	その他	4	3	2	8	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	18,224	20,356	20,892	20,641	
一般財源(物件費に充当されるもの)	1,994	3,320	0	6,570		

5. 総括的分析

総括的分析	路線認定事務については、例年通りとなった。また、件数が増加している事務があったため事務処理に時間を要した。 路線認定数 76件、道路管理瑕疵に基づく賠償 0件、道路施設損傷 54件 放置自動車等調査 3件、不法投棄処理 100件
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	継続して効率的な事務執行を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 082

事務事業名称	道路占用・掘削許可事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	道路法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	土地利用を計画される人または事業者で道路許可を必要とするもの。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	法令等に基づいた手続きが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	申請時または事前に協議を行い、手続きの進行がスムーズにできている。				
事業概要	道路法の規定に基づき、道路における電気、ガス、水道、下水道等の占用申請について、警察と協議しその許可を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						申請時または事前に協議を行い、 手続きの進行がスムーズにできている。				道路占用・掘削に関する許可申請 を受け付ける。				
指標設定	指標説明					申請に対する処理完了件数				許可申請件数				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	達成度					85%				85%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.10
再任用	0.00
任期付職員	0.30
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,539	12,178	9,877		
	会計年度任用職員	0	0	1,232		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	19,539	12,178	11,109		
物件費計	0	0	0	10	0.0%	
歳出計		19,543	12,178	11,109		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	4	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	4	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	10	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>例年と比較して申請件数は少なかった。今年度より実施している大阪ガス及び市内の電子申請により事務の効率化が図れた。引き続き、他の公益事業者と電子申請の実施に向けて検討・調整を行い事務の効率化を図る。</p> <p>道路占用許可申請 1418件 道路工事施工承認申請 239件 枚方市道路占用連絡協議会開催 2回</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 083

事務事業名称	法定外公共物整理事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市法定外公共物の管理に関する条例、地方分権一括法、決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	法定外公共物の利用者、隣接者等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	境界確定が成されていないものが多く、機能の有無を判定するにあたり、法定外公共物の位置の特定が困難である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	現に公共の用に供されている法定外公共物(里道・水路)の譲与受けが完了し、適正な機能管理ができています。				
事業概要	機能を有する法定外公共物(里道・水路)の未譲与物件について追加譲与申請を行い、現況機能に応じた管理を行う。機能のない譲与受物件について、隣接者から払下げ申請があれば用途廃止を行い処分手続きを進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						現況機能に応じた管理ができています。				里道・水路の機能の有無により、譲与申請や用途廃止申請の受付を行う。			
指標設定	指標説明					各申請に対する完了件数				追加譲与・用途廃止の申請件数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					単位	件	単位	件				
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					10	10	10	10	10	10	10	10
達成度					90%				90%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,748	7,464	4,687		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,748	7,464	4,687		
物件費計	254	214	198	385	51.4%	
歳出計	4,002	7,678	4,885			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	254	214	385	421	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	254	214	385	421	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	-36		

5. 総括的分析

総括的分析	開発事業や公共事業に伴う追加譲与の相談が想定よりも少なかった為、全体の件数としては目標数値に達しなかったが、全体数値は増加した。相談の受付分については円滑に事務を実施できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	追加譲与の件数は、今後大きく増加することはないと思われるが、用途廃止については今後も増加すると想定されるため、相談があれば調査を速やかに行い、円滑な事務処理に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 591

事務事業名称	公園・緑地開発指導事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1998(H10)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市開発事業等の手続等に関する条例、大阪府自然環境保全条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内において宅地造成をしようとする開発事業者や建物を建築しようとする建築主など			
	サブターゲット	みどりの効果の恩恵を受ける市民や開発地や建築敷地に隣接し、生活環境に影響が生じる住民			
	ターゲットが抱える課題	法令等に基づき市が求める公園や緑化の計画を適切に行うために技術的(形状・態様)指導が必要			
	ターゲットが抱える課題	緑が持つ機能、役割が再認識され、緑の保全、回復、創出を求める声が多い。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> ・開発地内や建築敷地内に公園や緑地の整備を指導することにより、まち全体が自然と共生し、美しい環境を守り育てる ・市民全体がみどりの効果を楽しむことができる 				
事業概要	<p>公園、緑地開発指導等事務として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①開発事前及び本協議等で開発面積等により公園・緑地の整備を指導 ②開発指導物件の中間・完了検査 ③帰属公園・緑地の検査 ④建築事前協議で緑化等指導 ⑤府条例に基づく建築物緑化の指導・届出受理等事務処理を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		適切な指導により、良好な公園や緑地が整備され、市民全体がみどりの効果を楽しむことができる。				開発地内や建築敷地内に公園や緑地の整備を指導する。								
指標設定	指標説明					指導により整備が完了した公園・緑地の件数(累計)				条例に基づく指導件数(累計)				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					20	40	60	80	40	80	120	160
	達成度					198%				120%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.10
再任用	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,097	11,115	11,111		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	16,097	11,115	11,111		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	16,097	11,115	11,111			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	開発により整備された公園数は目標値を上回った。
-------	-------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	公共・公益施設整備基準で定められている提供公園整備基準に基づき協議を実施する。

事務事業名称	プレーパーク推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名	24-2.市民参加によるみどりを支える仕組みの充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	自然の中で自らの創造や工夫により自由に遊びたい子ども			
	サブターゲット	小さい時に自らが経験した自然の中での自由な遊びを子供にも経験させたいという保護者			
	ターゲットが抱える課題	子どもが自らの想いで自由に遊べる自然の遊び場が少ない。			
	ターゲットが抱える課題	まちなかの公園でも思い切って自由にボール遊びができないなど親が願う子どもの発育を支える環境が身近な場所にない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもが自らの創造や工夫により自由に遊べる場所が身近にあり、世代間の交流につながっている。				
事業概要	子育て環境の充実と地域の活性化を図るため、子どもたちが創造や工夫により自ら遊び場を作る「子どもの冒険遊び場」として、まちなかにある斜面林という立地条件を活かし、香里ヶ丘地区の桑ヶ谷の緑地において市民活動団体と協働してプレーパーク事業を行うもの。 (活動団体) ひらかたプレーパーク実行委員会(活動場所) 桑ヶ谷公園隣接緑地(約1.3ヘクタール) (活動内容) プレーパークの実施 ・1回につき2～3時間、1回/月、年に12回程度の開催 ・木材を利用したブランコや竹細工、ツリーテラスづくりなどを実施				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		子どもが自らの創造や工夫により自由に遊べる場所が身近にあり、世代間の交流につながっている。				プレーパークに参加できる機会が増える。				プレーパークの開催を推進する。			
指標設定	指標説明	利用者アンケートによる満足度 【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】				各年度におけるプレーパークの子供参加者数				各年度におけるプレーパークの開催数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	60	65	70	75	360	390	420	450	12	13	14	15
達成度	98	100	100		703	538	812		9	10	14		
		143%				193%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.90
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,242	3,814	8,541		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,242	3,814	8,541		
	物件費計	1,409	1,619	3,135	5,000	62.7%
	歳出計	7,651	3,814	11,676		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,409	0	3,135	5,000	

5. 総括的分析

総括的分析	事業内容については多くの利用者が満足するものとなっており、参加者も増加した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、事業を実施し子育て環境の充実と地域の活性化を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 602

事務事業名称	都市公園等維持管理事業(管理)										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市公園法、枚方市都市公園条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公園利用者すべて。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。				
事業概要	公園を安全・安心に利用できるよう管理を行う ・公園占用及び使用の許可 ・公園占用料及び使用料の徴収 ・公園等に関する苦情、要望、事故等の処理事務 ・公園等の管理瑕疵による賠償 等				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						申請に対し、適切に対応する				公園等の一時占用許可申請を受け付ける			
指標設定	指標説明					対応件数				申請件数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	100	100	100	100
	実績					108	153	156		108	153	156	
達成度						156%				156%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.30
再任用	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	4,255	11,163		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	4,255	11,163		
物件費計	-	43,153	49,050	45,920	106.8%	
歳出計	-	47,243	60,213			
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	-	43,153	49,050	45,920		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>申請数が昨年度より増える結果となった。</p> <p>公園一時占用許可申請 156件</p> <p>公園内制限行為許可申請 39件</p> <p>行政財産使用許可申請 11件</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 806

事務事業名称	河川・水路・法定外水路境界明示事務											
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路公園管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2011(H23)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	河川法、枚方市法定外公共物の管理に関する条例、枚方市手数料条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	所有する土地の売買や開発等に当たっては、隣接道路等との境界を確定する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本市が管理する準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界確定についてスムーズな手続きができています。				
事業概要	本市が管理する準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界について、双方現地立会で境界線の位置を協議のうえ定める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						申請に対し、その土地と水路等の境界について、スムーズな手続きが出来ている。				準用河川・法定外公共物に隣接する土地所有者より、既明示証明申請を受け付ける。				
指標設定	指標説明					既明示証明申請に対する対応件数				既明示証明申請件数				
	指標種類					単位	件	単位	件					
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					15	15	15	15	15	15	15	15
	達成度					0%				0%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						申請に対し、その土地と水路等の境界について、スムーズな手続きが来ている。				準用河川・法定外公共有物に隣接する土地所有者より、新規明示申請を受け付ける。				
指標設定②	指標説明					新規明示申請に対する対応件数				新規明示申請件数				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					70	70	70	70	70	70	70	70
	達成度					121%				121%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.00
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	16,699	12,633	24,947		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	16,699	12,633	24,947		
	物件費計	171	309	532	414	128.5%
歳出計		16,870	12,942	25,479		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	171	309	422	427	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		171	309	422	427	
一般財源(物件費に充当されるもの)		0	0	110	0	

5. 総括的分析

総括的分析	昨年度に比べて新型コロナウイルス感染症まん延防止措置による影響が減少したと想定され、目標に近い達成度となった。指標に含んでいないが、既明示証明申請件数も昨年度に比べ減少しているがR2年度よりは増加傾向である。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	申請があれば速やかに調査・調整を図り、円滑かつ適正な事務執行に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 807

事務事業名称	準用河川等管理事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2011(H23)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	河川法、枚方市法定外公共物の管理に関する条例、同施行規則、枚方市準用河川占用料条例、同施行規則、枚方市準用河川の管理に関する規則				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	準用河川の利用者、隣接者等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	準用河川等の適切な管理を求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	河川法を遵守した土地利用ができています。				
事業概要	準用河川の河川法に基づく許可及び準用河川占用料の徴収 法定外公共物(水路)の使用許可及び使用料の徴収 国、府の管理する河川、水路等の占用許可の経由事務 準用河川、法定外公共物(水路)に関する苦情、要望、事故等の処理事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						各申請に対し、適切に対応する。				準用河川、法定外公共物、国、府の管理する河川、水路等の占用許可申請を受け付ける。				
指標設定	指標説明					申請に対する対応件数				申請件数				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					25	25	25	25	25	25	25	25
	達成度					1292%				1292%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						苦情、要望、事故等に対し、適切に対応する。				準用河川、法定外公共物に関する苦情、要望、事故等を受け付ける。				
指標設定②	指標説明					苦情、要望、事故等の対応件数				苦情、要望、事故等の件数				
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					10	10	10	10	10	10	10	10
	達成度					-330%				-330%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.75
再任用	0.00
任期付職員	0.20
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	9,015	18,145	22,339		
	会計年度任用職員	0	0	1,578		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,015	18,145	23,917		
	物件費計	0	0	0	10	0.0%
歳出計		9,015	18,145	23,917		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		0	0	0	10	

5. 総括的分析

総括的分析	申請件数が増えたため、見込みより多くの人員を配置することとなった。 河川法申請 20件、法定外公共物使用許可等申請 282件、法定外公共物施行承認 13件、国や府の管理経由事務 8件、河川等明示 105件
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 812

事務事業名称	枚方市道路長寿命化計画事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2011(H23)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	道路法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	道路の利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	突発的な補修が発生した場合は多大な財政負担が発生することになり、迅速な補修に影響を与える。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	計画に基づいた点検、修繕を実施し、持続可能な道路施設の維持管理が継続できており、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				
事業概要	枚方市道路長寿命化修繕計画として、メンテナンスサイクルを確立し、道路施設全般の維持管理に関する基本方針を示す。 また、個別施設計画に基づき、効率的・効果的で持続可能な道路施設の維持管理を推進する。 (橋梁長寿命化修繕計画事業を統合)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
			「枚方市道路長寿命化計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「枚方市道路長寿命化計画」に係る事務を実施する。						
指標設定	指標説明	道路施設点検を完了した箇所数				計画に基づく道路施設点検必要箇所数							
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値					単位	箇所	単位	箇所				
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					30	142	63	76	30	142	63	76
達成度						98%				98%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.82
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,350	3,143	6,406		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,350	3,143	6,406		
物件費計	10,395	22,636	19,272	22,500	85.7%	
歳出計	13,745	25,779	25,678			
歳入	国庫支出金	4,730	10,736	7,352	8,745	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	4,730	10,736	7,352	8,745	
一般財源（物件費に充当されるもの）	5,665	11,900	11,920	13,755		

5. 総括的分析

総括的分析	道路施設の点検について、点検対象物の撤去を行ったので、実績数が1減となったが、計画通りに実施することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	計画に基づき、道路施設の点検を実施する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 946

事務事業名称	道路公園管理課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	道路公園管理課所管事務に従事する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	事務の適正かつ効率的な運営の継続			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務の適正かつ効率的な運営の維持				
事業概要	1. 予算及び決算に関する事務 2. 行政評価及び事業計画等に関する事務 3. 物品の契約及び整理、保管に関する事務 4. 職員の休暇及び服務に関する事務 5. 文書の收受、発送及び整理、保管に関する事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
指標設定	指標説明				
	指標種類				
	指標数値	目標 (見込み)			
		実績			
	達成度				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.65
再任用	0.10
任期付職員	0.30
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	20,821	22,489		
	会計年度任用職員	-	3,132	1,232		
	特別職非常勤	-	4,523	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	28,476	23,721		
	物件費計	-	864	11,343	4,501	252.0%
	歳出計	-	29,340	35,064		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	774	1,203	1,194	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	76	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	850	1,203	1,194	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	14	10,140	3,307	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>過年度に比べ、新型コロナウイルス感染症まん延防止に伴う制限の緩和により、道路の調査や要望のため、窓口対応する業務量が増加したが、道路台帳のインターネット閲覧に誘導することにより図面発行の件数は減少した。</p> <p>道路等関係図面等写しの発行事務2769件(過年度3,446件) 意見、要望等の処理事務 841件(過年度839件)</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	継続して効率的な事務執行を行う。